焦点

いま学校の先生達は、こどもを守るために必死の闘いをつづけていられます。それは吉田内閣が戦争をすることによって金もうけをしようとして学校の先生に対して、教育の中立という名で、政治活動禁止法案を判定しようとしているからです。

教育の自由を守れ！

大牟田市教組の教育防衛大会

炭労では、委員長名で三月六日、日教組の闘争支援の指示を発した、その内容は日教組は平和と子供を守るために教育破壊法反対闘争を展開し来る三月十四日、十五日実力行使を決定しているので、各支部は全PTA会員を動員して闘争を支援、協力されたい、という内容で、大牟田市教組（組合員千三百）は十四日、日曜父兄参観の授業を行い、十五日は休業して、笹林公園で市内、高、中、小学校の先生約千名が参加、これにはPTA及び炭婦協を交えて教育防衛大会を開催した。大会は執行部の経過報告、意見発表があり炭婦協より佐伯副会長が、平和を乱し、子供を戦争にかりたてる教育破壊法絶対反対と絶叫、万雷の拍手を受けた。又ス訪小学校PTA会長赤脇さん（三川支部）は、全国五十万の先生達が日夜寝食を忘れて、平和と子供を守るため闘っていられるこれは先生達のみの闘争でなく、日本の平和を愛する者とくにPTAは立上らねばならないと決意を披歴した。七項目のスローガンならびに国民各層の批判と世論を顧みず今次国会にいわゆる教育破壊法の二法案を強硬上程をなしたことについて限りない憤激を覚える、同法案は民主教育の自主性を拘束し、不当な一方的勢力による教育統制を招き、憲法と人権思想の普及をめざす教育の根本精神を破壊するものであり、われ／＼は民主的な日本教育の健全な発展と自主性確保を念願するため、ひろく国民大衆とともに総力を結集して闘う。旨の決議文を満場一致可決、大会終了後デモ行進にうつり国鉄労組を激励し、松原中学で解散した。

寫眞＝大牟田の教育防衛大会

文化資金問題で團交を申入れ

西鉱連三山が統一して要求

文化委員会設置、文化資金値上げに関しては西鉱連九州三山の統一的な要求として本年初頭の西鉱連大会に於て取り上げられたが、従来この問題は比較的に表面上取り上げられなかつた。しかしながら今回特にスト権をも確立して闘うという位重要な問題として取上げられたのは組合員の文化的水準の向上と福利行事に使用される金が会社の恩恵的支出であり、一方的に使用され得るものであるとするならば本来の目的達成は至難であるばかりか、組合の為にはかえつて有害無益なものになるおそれもあり、文化資金が真に我々の血となり肉となる為には労資が最も民主的に合理的に運営される機関の設置を要求することが妥当であると判断されるからである。既に組合に於ても中央委員会の了解を得ると共に三月十六日会社側に団交申入れを行つたが、基本的な、理念的問題から激突が予想される。然し低賃金にあえぐ組合員の労働条件の一要素としての性格を持つこの問題解決の為には山元組合員の全力をかけての闘いが必要であろう。又増額の問題にしても年々減少する組合員の額だけ減額されているが、一行事を行うにしても費用は同じ様に必要であり、従来通り諸行事が行われる様要求している。

組合費の還附

今月末賃金精算と共に企業整備闘争の終結に伴い、三鉱連から闘争資金の還附金一千九百万七千余円の現金がこのほど届いた。長期の闘争による組合員の経済的打撃も大きいので闘争資金に繰入れることなく一般組合員、第二次自由退職者、退職拒否者にそれぞ゛のランクを設けて今月末ごろ二月分賃金精算と共に還附する事になつている。

三川の少年野球

四月十日幕開く

三川鉱の少年野球大会は毎年夏に催行されて来たが、今年は余り暑くならない中、四月十日から四日間三川鉱グラウンドで行われる事となつた。

緊縮予算で頭痛鉢巻

宮川、松本両市議から市會報告

三月は頭初予算を組む大切な月であり、大牟田、荒尾両市とも本会議に入つているが、これにつき鉱組選出の市会議員である宮川組合長（荒尾）、松本四山支部長（大牟田）から十四日の中央委員会で夫々次のように市会報告がなされた。

大牟田市議會

大牟田市議会は七日から開幕、同日施政演説があつて八、九両日休会して各派各クラブ毎に予算案を検討の上十一日から十三日まで討論、十五日から予算委員会にかけて廿三日最終決定をなす事になつている。田中市長は施政演説で緊縮財政を強調、税金、起債、鉱害税の枠内で市財政を賄う方針である事を明らかにしたが、税は既に限界点に達して居る事ではあり、相当窮屈になる事は免れない。これに対し革新クラブとしては

一、民生の安定は学校給食、失対その他社会福祉事業の活発な推進に負うところが多いが、この点どう考えて居るか。

二、税の滞納取立は公平に行われて居るか、例えば三井は水道料六百万円を滞納、このうち三百万円は二月末に納入したが、なお三百万円が残つており、弱い者に対してのみ苛酷な取立てをする事なく、こんな大口の強い部面に対してもつと積極的に出る必要がありはしないか。

三、馬場井ゼキの水利権問題をどう考えているか、市長が水利権を握つて解決に乗出す意志はないか。

四、諏訪川下流の漁場（市が橋をかけ、それを三井の会社がボタすてのため使用、満潮時には船が通らず、また悪水のため魚がとれない）に関する市の対策如何。

五、フンニョウ汲取り費を値上げして廿九年度は四百四十万円の増収を見込み、また火葬費の値上げも企図し何れも市条例の改正を企図しているが、民生安定の見地から納得が行き兼ねる。

六、鉱害特別調査委員会設置に関する条例を設ける意志なきや？

と質問なり要求を突きつけた。以上十五日以降の特別委員会で論議の上廿三日結論が出される。

オームタ35クラブ結成

顧問に町田定明氏

最近コニレットよりライカに至る35ミリカメラの普及は著しく、写真雑誌に各種展覧会、サロン等への進出も実に目ざましいものがある。我が大牟田にもこれら35ミリカメラ愛好者が数多くあるが、未だこれを駆使し且つ作画しようとする人の寥々たることは遺憾とされていたが、今般町田定明氏を顧問にオームタ35ミリクラブが結成された。当クラブでは月一回の例会をもち作画研究、批評など行うことになつているので、広く同好の士の参集を希望している。

申込所 久野光藝社
大牟田市曙町
電二六九八番

財布のヒモは固い

宮浦指定店の即賣会

宮浦支部指定店会の有志が十五日金受け当日、組合事務所横の広場で「春の即賣展示会」を開催した築町龍商店外六店が参加して、入学期を控へランドセル、学童服、靴等市価より安く然も月賦で奉仕しようというのであつたが、誰しも給料袋の中身は軽いらしく余り賣行きは芳しくなかつた。而し宣伝効果は正に百%で、来月始め一週間位の予定で勝立講堂において本格的賣出しを予定している。なお先月末勝立社宅で行われた即賣会では一日で十二万円の賣上げを得たとか。

荒尾市議會

荒尾市では十一日から廿一日までを会期に本議会を開催、十一日に坂田市長の施政方針演説がなされ予算を組む条例の提案があつて一旦休会、十五日から十七日まで一般質問、十八日から常任委員会に附託され二十三日更生予算を提案二十四日から二十九日まで委員会に附託、三十、三十一の両日本会議で討論採決される事となつて居るが、十一日の施政演説で坂田市長は大要次のように述べて居る。即ち国家予算が一兆円に引締められた結果地方財政にシワ寄せがなされ非常な緊縮財政を余儀なくされている。従つて需用費、交際費食料費など大巾に削減し出張旅費もこれまでの一等を二等に引下げる。費目のうち最も大きなのは人件費の四〇％だが、これには手をつけず結局総予算額を三億五千万円に押える。市民税収入は全額徴収出来たとしても二千三百万円なのに対し、経費の方は市役所だけで四千五百万円、失業対策費四千五百万円（半額国庫負担）他に学校も作らねばならず、また道路工事費にも一千五百万円を要するなど支出面は前年より五百万円増となつて居るこのように財政は非常に苦しいので税金還附もこれまでの一〇％を五％に引直したい。市営バスも赤字続きなので廃止したいと考えて居るが、これには住民投票によつて世論も問いたいし一方的に廃止を断行すると云うのでなく綜合的な資料を作成提出するから十分検討して頂きたいと云うのであり、同時に税金還附については組合員の利害に直接響くので従来通り一〇％を確保したいと思つている。

健保料率は据置き

豫算編成に赤信號

三池健康保険組合

三池健保組合の昭和二十九年度健康保険予算は三億三千八百七十万一千円で、この中で療養給付が八三・〇九％で二億八千百四三万四千円を占めて居る。その他の項は前年と同様程度であるが、予算編成で例年と違つた点は、二十八年十一月一日から施行された健康保険法一部改訂に基く療養期間一ケ年延長での支出増加、医療点数（註＝往診点数五点増、入院費一日付五点増、薬品の引上げ）等に依る予算支出の増額に反し企業整備での人員減（一・七三九名）で収入が減じ、療養給付を昭和二十八年通りの範囲で行えば、保険料率を引上げねばならないが、互選理事側（労組関係）は中央委員会の諒解線に添つて保険料率の改正を行わず、尚療養給付は従来通り行わせるために、保険館設立費（予備金）二千五百万円を流用して予算編成を主張し、保険料率を変更せずに予算編成を行つた。

【註】保険館設立の場合は積立金より半額を不動産として処理出来るので之で設立する事が出来る。

主なる修正點

①歯科補綴

制限外であるので現在交渉中であるが、認定された場合は予備費より支出する事に決定。

②レントゲン購入

家族結核早期発見のために価格六〇万円程度の上位の物を購入する使用の場合は充分計画性を以つて実施する。

③高瀬保養所料金改訂

事務局より高瀬保養所赤字のために値上げの申入ありこれに反対した現在の宿泊、使用料を廃止しこれを健保で負担し、この金額を食費に廻す事により現行二百円を維持する。併せて使用規程を明確にする。

④阿蘇山の家料金

実施は四月一日より適用する。高瀬保養所の使用方法と同様にする（宿泊、借用は無料）

⑤事務所費、維持費其の他項目中、不急、不要の出費とみなされる面に付いては質疑事項として理事会で検討を加える同細部について明細は予算書を配布する事になつている。

大衆は静かなデモ

山ノ上事件實地検證

首切反対闘争中に起つた賃金カットの問題に端を起し、山ノ上団体交渉中起きた、いわゆる「山ノ上事件」の公判も福岡地裁で二回開かれたが、三月十五日は実地検証が行われた。福岡地裁より、藤野判事、奥田検事が来牟、弁護団は田中、諫山両氏、組合より宮川、菊川両正副組合長その他執行員立会のもと、被疑者の山本豊、森田満明、古賀進、松原袈裟秋、池田昭二の五君について、供述にもとづくところの検証がなされた。

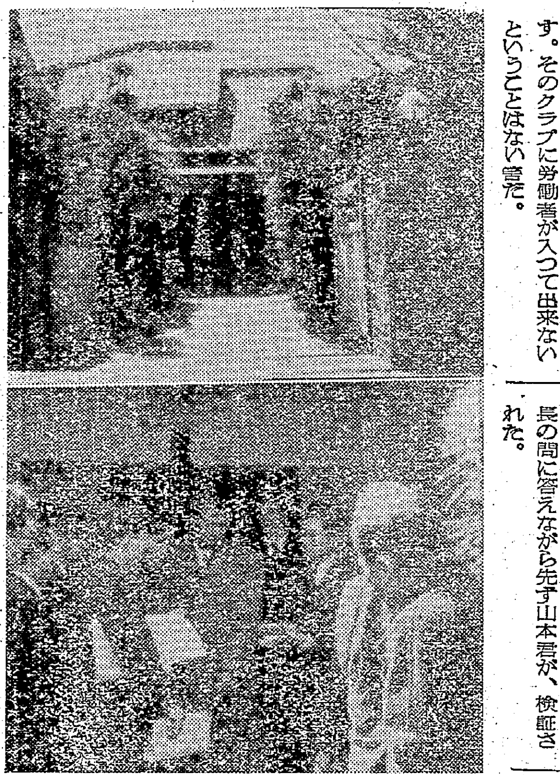
当日はこの事件に対する関心を示す如く、十時前より組合員、炭婦協の皆さんが多数参集して来て、当時の苦しかつたことやつらかつたことを話合つていた。いつもの物々しい赤旗や白鉢巻の姿も見えず、まさしく今日は静かなるデモで、公正なる裁判に協力するという態度は満点であつた。

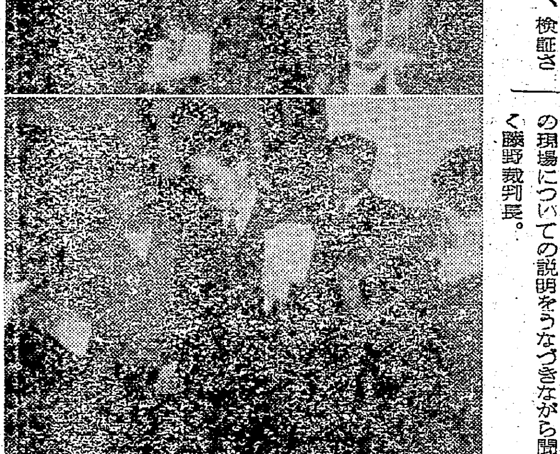
十一時頃より愈々実地検証に入るまず山本君に対しての検証がなされ、玄関までの立入りの状態をつくる。続いて森田、古賀、松原、池田君が実施される。池田君の場合はクラブの裏でピケを張つていて、事件は関知しなかつた状態は注目される。

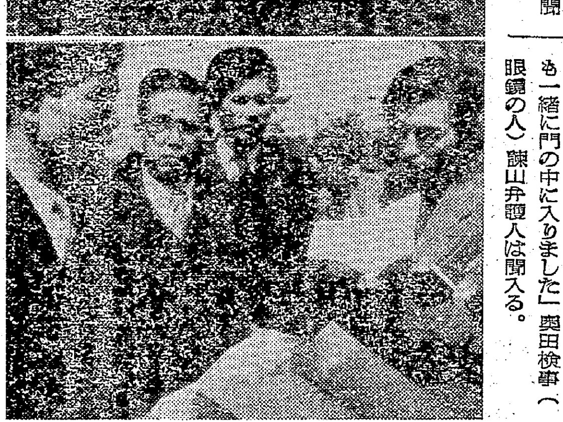
十二時頃に検証は終つた。この事件にする次回の公判は四月八日証人認定、五月二十五、二十六、二十七日が証人訊問がなされこれは大牟田で開廷される予定

紙上スライド 公正なる裁判を

山ノ上事件 實地檢證







俺達のものだ

これが山の上倶楽部です。これは私達が真黒になつて働いた、そのお金で出来たのです。そのクラブに労働者が入つて出来ないということはない筈だ。

先ず山本君より

「私はこゝまで来たら、施錠したので、扉の外に出ました」当時を思い出して、裁判長の問に答えながら先ず山本君が、検証された。

うなづく判事

「こゝで、会社側の人が居まして西という人が私達を阻止しようとしました」松原君の現場についての説明をうなづきながら聞く藤野裁判長。

検事の目は光る

「私は其の時、門から約半間位離れた東北に居ましたが、其の人員の流れの強さに私も一緒に門の中に入りました」奥田検事（眼鏡の人）諫山弁護人は聞入る。

會社が惡い

「オイツ公正な裁判をやれよ」集つた組合員、炭婦協の人々は注意深くこの実地検証をみまもる。「会社奴ドンが悪かけんやん」さゝやきの声がする。

苦情処理 何でも引受けます

四山ロ方掘進が機關を設置

四山鉱ロ方掘進部内では日常活動として現場における色々な苦情を取り上げ、これが速かな解決をはかる目的をもつて去る十六日委員と現場代表（機関員）十名が協議を持ち左記要領で苦情処理に当る事を決定したが、意義ある試みとして極めて注目される。

△苦情受付

部内員の苦情処理申請により機関員が必要な事項を調査し理由を明確にした上受付ける。

△処理方法

機関員が全員木曜日に各人の資料を持寄り協議の上結論を出して執行部に連絡すると同時に係長、係員らと折衝を行い、解決せぬ場合は折衝の内容を明記して執行部に解決方依頼する。

△現場協議會

日常の労働条件、保安上の問題を検討、記録し協議会の席上では機関員が活発に発言提案する。処理した内容については、これを集約した結論を一般に発表して諒解を得る。

赤ン坊コンクールに一位

四山の村上暢子さん

十日大牟田市保健所で行われた全国赤ちゃんコンクール大牟田地区予選女子の部で、四山鉱掘進工村上二三氏（三三才）の長女暢子ちやん（十六日で満一才）が見事一等の栄冠をかち得た。早速四山社宅に御伺いすると丁度誕生日の御祝いに餅搗きの真最中だつたが、奥さんのたか子さん（三〇才）共々に喜色溢れて次のように語つて下さつた。

別に特別の育児法など云うものは行なつて居ませんが、私達夫婦が揃つて健康なせいか子供達も皆元気に育ち、上の男の子二人も三鉱赤ン坊大会で夫々入賞して居ます。

当の暢子ちやんはリンゴのような頬つぺたが落つこちそうに肥え太り無心に遊んで居た。

健康一家、中央抱かれて居るのが暢子ちゃん

子供神輿も繰出す

万田社宅地域分會 合同で山神大祭を擧行

万田の宮前、通町、山下土手、西町、四地域分会が共同で来る四月十一日安全祈願とリクレーションをかねて華々しく山神大祭を催す事となつた。当日は四地域分会からそれぞ゛子供ミコシを繰り出す他、万田会館で各地域五名宛が出演して奉納演藝会が行われる等、万田社宅始つて以来の盛事で、関係者一同張切つている。特に子供ミコシは揃いの白鉢巻、白装束でピツ／＼、ワッショイのかけ声も勇ましく練り歩く事となつており子供達は今から楽しみにしている因みに四地域分会では、会社に申入れて昨年末山神社殿の修理を行わせたが、以来毎日順番で境内の清掃を続け、又昨年害虫に荒されて全滅が噂されていた桜の木も見事に手入れされて、今年は絶対大丈夫と折紙がつけられている等春の話題を賑わせている。

職番變更でカードの整理に大童

三川支部圖書館

三川支部図書館では、既報の様に利用者の激増で大賑いを呈しているが、IBMによる職番変更で登録カードを全部書きなほさねばならず、十五日係は勿論手空きの執行部員総出で整理に当つた。

（写眞は繁昌する三川図書館）

注視する千の目

勝立事件の實地検證

勝立賣店事件の実地検証は十七日午前十時半から地裁大牟田支部鍛治判事、地検富田検事それに組合側諫山弁護士立会の下に行われ平島、砥島、浦本、えび原四被告のほか今岡、常松（原告側）阿久津、山下氏ら各証人の言に基き精細な検証を行い昼前終了したが、組合員、炭婦協の主婦ら約六百名が現場を取巻いて成行如何にと注視の眼を光らせ、常松、今岡両氏が出て来ると「会社側の証人だ」「検事の虎の子証人だい」と痛烈な弥次が飛ぶなかを森下賣店長及び事件当日終始同氏と行動を共にした資材課木下係員が検判事の間に答えて逐一状況（主として各被告の位置して居た点）を説明して居る姿が一際目を惹いた。

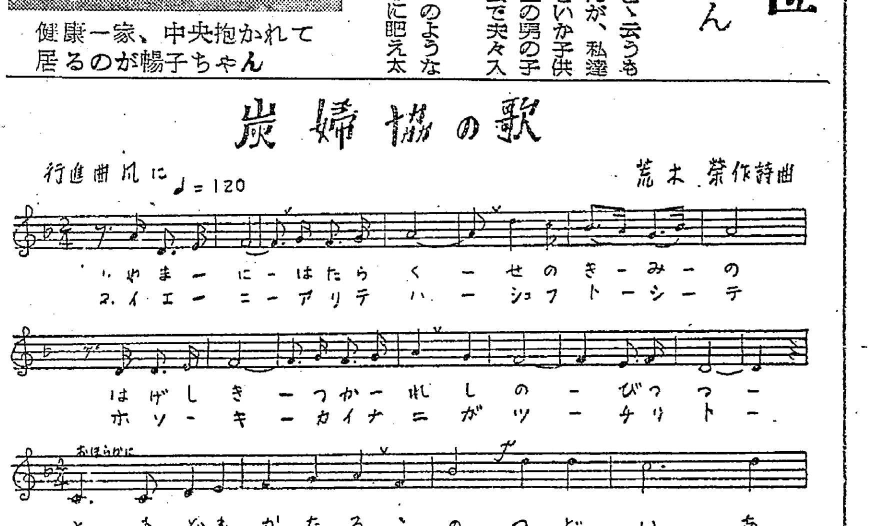
音痴でも結構

三川「歌を覚える会」

「歌が好きだけれどもオタマジヤクシがわからなくて困る」「歌を正しくうたえるようになりたい」こう云つた気持が一つにまとまつて今度三川支部に「歌をおぼえる会」が生れた。毎週一回金曜日の午後四時半から六時まで三作荒木栄氏の指導で楽しく練習をしているが、第一回十二日には約卅名が集り、回を逐う毎にグン／＼ふえる見込み、なお練習曲目は差向き「お江戸日本橋」「おやこどんぶり」となつて居り〃仕事の合間に会社の行き帰りに、家では子供達と一緒に歌をうたえたら一日がどんなにか楽しく平和な事でしょう万事に遠慮がちな三川鉱の女性の方も御遠慮なくともだちをおさそいの上参加して下さい。一緒にうたいましよう、高らかに…〃と多数参加を希望している。

炭婦協の歌

荒木栄作詩曲


行進曲風に ♩=120
いやまーにーはたらくーせのきーみーの
スイエーニーアリテハーシュフトーシーテ
はげしきーつかーれしのーびつつー
ホソーキーカイナニガツーチリトー
おほらかに
とあどもかたるこのつどいあ
クルシキカケイササエツツタ
いじょうのはなさききーそーう。
ダシクコラヲソグテーユーク。
1～3
4
そのなはやさしーたんぷきょう。う。
ソノ名ハユカシータンプキョウ。

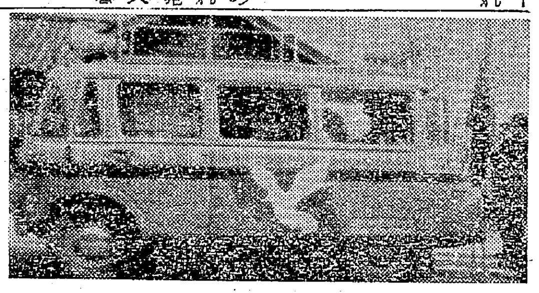
炭婦協の歌

（集会）
一、鉱山に働く背の君の
はげしき疲れしのびつゝ
共々語るこの集い
愛情の花咲き競う
その名は優しき炭婦協

（家庭）
二、家にありては主婦として
細きかいなにがつちりと
苦しき家計さゝえつゝ
正しく子等を育てゆく
その名は床し炭婦協

（理想）
三、働く者の世の中の
働く者の主婦となる
幸ある明日を信ずれば
しばし脂粉の香も忘る
その名は雄々し炭婦協

（団結）
四、炭鉱労働組合と
炭鉱主婦の協議会
二つならんだ旗じるし
高くかゝげて進み行く
われらの行手に栄光



縣総評にニュースカー

県総評と民水対（民主団体水害対策協議会）では、こんど二六五万円するニュース・カーを購入したこれは組合活動は勿論、革新政党民主団体も利用出来るもので、去る八日そのスマートな車体を組合の前に現わした。「はたかぜ」に比較すると親子の様であるが、テープ・コーダや十六粍映写機を備えている。これまでは、北九州を振り出しに全県下を挨拶と激励に廻り、国際婦人デーでその威力を発揮した。最近では八百屋さんの統一闘争に出動、中小企業者の人々にも愛されている。

教育警察 兩法反對

荒尾市會で決定

十六日荒尾市議会に宮川市議から教育破壊法並に警察法改悪反対決議方を提案、満場一致の賛成を得たので即日関係方面に対し左記の如く打電した。

電文

本市議会は只今国会に提出されて居る教育に関する二法案並に警察法案について全員一致を以て反対決議したので善処願う。

△宛先

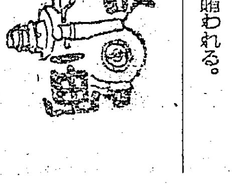
内閣総理大臣衆参両院議長、同地方行政委員長（警察法のみ）
同 文部委員長（教育法案のみ）

祐徳院へ 三川

女子鑛員遠足

恒例の三川鉱女子坑員の遠足会が今年は佐賀祐徳院に二十一日決行される。これは女子鉱員が男子に比し文化資金の活用という面であまり恵まれていないので会社、組合双方で希望者を募り毎年行われて来たもので、勿論費用一切は文化資金で賄われる。

「山椒太夫」



太陽館で全國第一封切

かねて製作中だつた溝口健二監督の「山しよう太夫」はこのほど完成、太陽館では廿八日招待試写会を行うが、卅一日から全国第一封切をやることになつた。

隣組制度を打破

四山支部委員會で決定

四山支部では十四日の中央委員会終了後緊急支部委員会を開き、中田健信委員の提案にかゝる隣組制度撤廃の件を審議した結果、満場一致これを決定した。隣組制度は戦時中の名残りであり、その主な役割は公民館の連絡、特配米、コークス券、入浴券、くろだいや新聞等の配布に当つているが、会社の出先機関的色彩を帯び種々面白からぬ面も出て来ているのでこれを廃止して組合員の世話は今後一切地域分会がこれに当ろうというのであり、現に十戸乃至十五戸単位の班組織も持つて居る事とて、切替えは何の渋滞もなく行われる筈で、組合としては炭婦協結成当時の前例もあるので委員会で決定した以上執行部が交渉その他執行業務に万全をつくすは勿論、委員全員も責任を以てこれが実現に努力する事を確認、早速会社に申入れを行うが、若し容れられない場合は改めて労使協議会の議題として提出するとの方針を決めている。